

ヤフー、電通デジタル、PARTYが、警察庁と連携して、AIにより指名手配被疑者の過去の写真から今の姿を予測する プロジェクト「TEHAI（てはい）」を公開

ヤフー株式会社
株式会社電通デジタル
株式会社パーティー

～ 警察庁の捜査強化月間プロジェクトにあわせ、ユーザーからの情報提供促進と啓発を強化 ～

「TEHAI（てはい）」

ヤフー株式会社（以下 Yahoo! JAPAN）と株式会社電通デジタル（以下 電通デジタル）、株式会社パーティー（以下 PARTY）の3社は、警察庁から写真や情報提供などの協力を得たうえで、指名手配被疑者の情報提供の促進を目的に、AI（画像解析・生成技術）を活用し、過去の写真から今の姿を予測するプロジェクト「TEHAI（てはい）」を始動し、情報提供を呼びかける特設サイトを本年の指名手配被疑者捜査強化月間（※1）に先立ち、本日より公開しました。

※1：2020年11月1日～11月30日（準備期間：10月1日～10月31日）



「TEHAI」はAI（画像解析・生成技術）を用いて指名手配被疑者の過去の写真から今の姿を予測するプロジェクトです。今回は、約630名（※2）の指名手配被疑者の中で、警察庁指定重要指名手配被疑者12名のうち5名の現在の姿をAIによって予測しています。「TEHAI」は、指名手配被疑者の存在を皆様に認知いただき、情報提供をしていただくことで指名手配被疑者の検挙の可能性を高めることを目指します。

■プロジェクト背景について

現在、警察庁指定重要指名手配被疑者は12名おり、手配されてから20年以上経過している者もいます。20年経過すると、老化や体型変化などによって人の外見的印象は変化します。そこで、警察庁の協力の元、Yahoo! JAPAN、電通デジタル、PARTYは、これまでの指名手配ポスターの掲示などに加え、AI（画像解析・生成技術）を活用した予測の可能性に着目し、「TEHAI」を始動させました。また、Yahoo! JAPAN、電通デジタル、PARTYの3社の知見を集結させることで、より通報しやすい設計を実現しています。

■「TEHAI」サイトについて

サイトでは、5名の指名手配被疑者の予測イメージを公開しています。被疑者の顔をクリックすると、AIによるシミュレーションと体型変化を加味し、被疑者一人につき9パターンの予測イメージを閲覧できます。5名いずれも検挙に結びつく有力な情報を提供してくれた方に対して報奨金が用意されており、心当たりがある際にはすぐに情報提供ボタンから連絡できる仕組みになっています。また、Yahoo! JAPANでは、自社の広告枠を通じて本サイトの認知拡大を目指します。



■情報提供方法について

情報提供ボタンを押すと、まずは対象選択の画面に。
対象選択後、それぞれの情報提供フォーム（or被疑者情報ページ）に遷移。



各指名手配被疑者の画像をクリックすると、担当する警察署の情報提供フォームに遷移し、目撃情報などを通報することが可能です。

■「TEHAI」で使用したAI（画像解析・生成技術）について

AI（画像解析・生成技術）を使って、大量の顔写真データから加齢に応じた特徴（シワの入り具合、皮膚のたるみ方など）を抽出し、過去撮影された被疑者の顔写真にその特徴を適用することで現在の姿を予測しました。加齢変化を得意とするAI、老化前後のペア画像から特徴を抽出して変換するAI など、AIが持つ特徴から複数のAIを採用し、被疑者1人あたり9つのパターンを公開することで、予測の幅を設けました。いずれも数万枚の顔写真データセットから数万回の学習を実施し、十分な検証を行っております。また、実際の被疑者での生成を行う前に、実在する人物の若い頃の写真を元に生成した写真と、その人物の現代の写真を比較することで「AIによる老化加工」の確かさを検証しています。（※3）。

※3：「TEHAI」による生成画像は、AIが予測する加齢変化の特徴を捉えた予測イメージ画像となり、実際の姿を保証するものではありません。

■[コンセプト動画](#)（外部リンク）

本プログラムの活動を紹介するコンセプト動画です。



■「TEHAI」ポスターについて

全国主要都市の警察署・交番に合計1万枚のポスターを配布し、「TEHAI」の取り組みを紹介します。

AIにより「指名手配被疑者」の過去の写真から今の姿を予測する

TEHAI

古びた写真。途絶えた足取り。
重大事件を過去のものにしないために。
指名手配被疑者の過去の写真と情報から、
今の姿を予測する「TEHAI」。
AIによる画像解析技術を使い、
指名手配被疑者を追い詰めます。

2012 2020

見立 真一 (41)
2012年 六本木クラブ内殺人事件 主犯格
殺人、凶器準備集合
600 万円の賠償金
上原額 300万円

小暮 洋史 (51)
殺人
300 万円の賠償金
上原額 300万円

小原 勝幸 (40)
殺人
300 万円の賠償金
上原額 300万円

上地 恵栄 (64)
殺人
300 万円の賠償金
上原額 300万円

宮内 雄大 (45)
強盗致傷
100 万円の賠償金
上原額 100万円

※顔写真の生成結果はあくまで想定であり、顔容の真実を保証するものではありません。記載の年齢は、2020年11月1日時点のものです。公開後提供：警察庁

掲載期間：2020年12月30日まで（予定）

YAHOO! JAPAN DENTSU DIGITAL PARTY TEHAI

■警察庁 刑事局刑事企画課長 重松弘教氏 コメント

全国の指名手配被疑者は、8月末日現在、約630人で、全体の3割弱が手配から10年以上経過しております。これまで、警察庁及び各都道府県警察のホームページやポスターなどで情報提供を呼び掛けておりましたが、手配写真が古く、より効果的な広報活動の在り方について検討しておりました。このような中、AI 技術を用いて被疑者の現在の姿を予測するシステムをご提案いただきました。国民の皆様から情報を広く提供していただくことで、一日でも早く被疑者を検挙することができればと期待しております。

■「TEHAI」プロジェクトチーム コメント

さまざまな写真加工アプリに代表されるように、画像解析・生成技術は身近なものになりました。その裏側にあるAI技術をもっと社会的意義のあることに活用できないか、そう考えたのがこのプロジェクトの始まりです。

コロナ禍によりあらゆることのデジタル化が加速する昨今、指名手配被疑者などの捜査へも最新のテクノロジーを導入することで、新たな捜査方法の提示になると考えています。

「TEHAI」では、AI技術を駆使して画像生成することで、“予測”の幅を拡げることにチャレンジしています。今回の取り組みにより、ユーザーからの情報提供などで指名手配被疑者捜査の一助になることを願うとともに、より多くの領域でテクノロジー・AI活用が推進される契機になれば幸いです。

■本プロジェクトの各社の役割

Yahoo! JAPAN：広告枠・サーバーの提供、サイト実装を担当。

電通デジタル：企画・制作・アートディレクション・AI開発を担当。

PARTY：クリエイティブディレクション・技術協力・AI画像生成の一部を担当

■「TEHAI」概要

プロジェクト名：「TEHAI」（てはい）

実施期間：2020年9月30日（水）～12月31日（木）

・ [ヤフー株式会社について](#)

Zホールディングス株式会社の子会社であるヤフー株式会社は、1996年4月1日にサービスを開始したYahoo! JAPANをはじめ、eコマース、検索、ニュースなど100以上のサービスを提供し、約8,000万人が利用する日本最大級のインターネットサービス企業です。

・ [株式会社電通デジタルについて](#)（外部リンク）

電通デジタルは、2016年7月に国内電通グループのデジタルマーケティング専門会社として設立しました。デジタルマーケティングの全領域に対して、「コンサルティング」、「開発・実装」、「運用・実行」の機能を持ち、統合的で最先端のマーケティングサービスを提供しています。テクノロジーやデータ、クリエイティブなど各領域のプロフェッショナルが、電通グループ各社との連携によりシナジーを創出し、クライアントの事業成長パートナーとしてビジネスの成功に貢献します。

・ [株式会社パーティーについて](#)（外部リンク）

アイデア・デザイン・テック・ビジネスを越境し、未来の体験を社会実装するクリエイティブ集団。AIと人間が共創したアート作品「GANGU」の日本科学未来館常設展示、Sci-Fiによるコンサルティングサービス「WIRED Sci-Fiプロトタイピング研究所」、アーティストのパフォーマンスを独自の世界観で楽しめるヴァーチャルライブ「VARP」、成田空港第3ターミナルの空間デザインなど、最新テクノロジーとストーリーテリングを融合した数多くの実績がある。アートと個人の関係をテクノロジーで変革する「The Chain Museum」など新規事業開発も行なっている。